

第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名：北海道 室蘭土木現業所

事業の名称：室蘭圏都市計画道路 3・4・114山下長和通

3・4・121長和農社通外2 街路事業

実施都市名：北海道 伊達市

事業の目的

一般道道南黄金長和線は、伊達市南黄金町から伊達市街地、伊達長和工業団地を經由し、伊達市長和町を結び、平行する国道37号を補完する路線です。平成12年の有珠山噴火時には、洞爺湖町から伊達市へのルートは、国道37号のみのため、伊達市長和町付近で渋滞が発生し、避難に支障をきたす状態だったため、緊急災害時の避難ルートの確保及び伊達長和工業団地への連絡輸送路を形成するため、延長1.8kmの山下長和通・長和農社通を整備したものである。

事業概要（１）

事業名：3・4・114山下長和通橋梁整備事業
3・4・121長和農社通外2踏切除却事業
路線名：一般道道 南黄金長和線
事業箇所：伊達市館山下町63～伊達市長和町133
伊達市長和町371～伊達市長和町248
事業延長：山下長和通1040m、長和農社通840m
幅員：山下長和通16.5m～20m（2車線）
長和農社通21m～27m（2車線）
総事業費：約48億円
事業期間：平成14年～平成17年

事業概要（２）

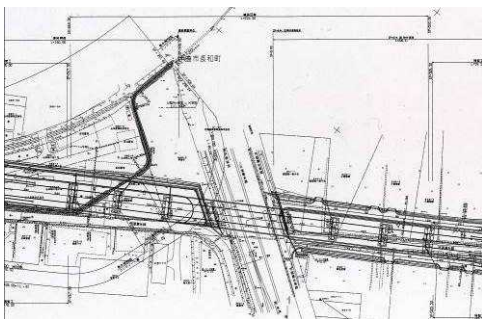
本事業は、未整備区間であった長流川を横断する新長流川橋・橋長182.1m、JR室蘭本線を横断する長和跨線橋・橋長233.5m、平面街築部約1.4kmを整備したものである。新長流川橋については、経済性により新技術工法である、PCコンポ橋を採用し、コスト縮減に努めている。

事業位置図

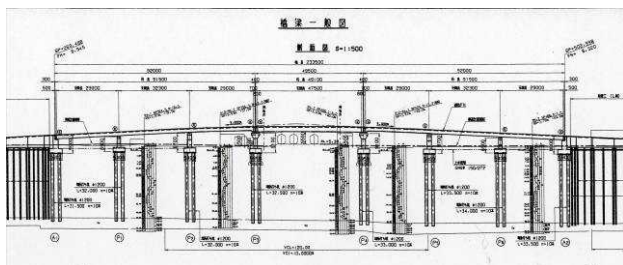


全体図(平面図・側面図・横断面図)

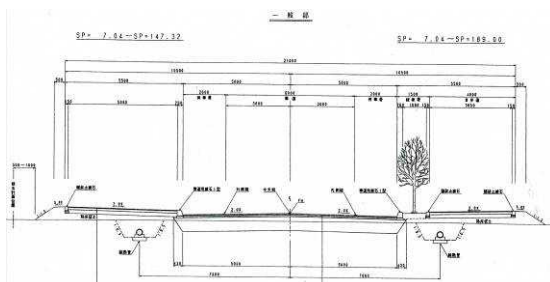
長和農社通 橋梁部平面図



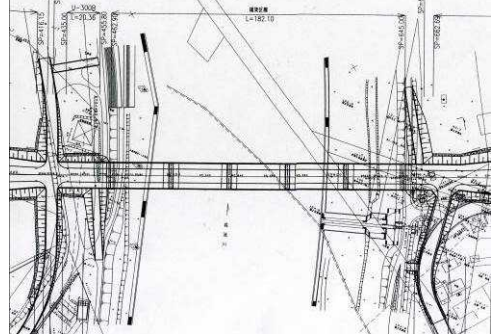
長和農社通 橋梁部一般図



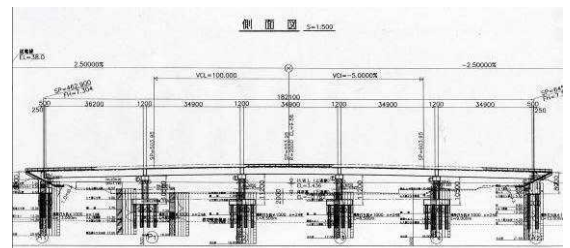
長和農社通 横断面図



山下長和通 橋梁部平面図



山下長和通 橋梁部一般図



山下長和通 横断面図



3・4・114山下長和通、3・4・121長和農社通外2 街路事業の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 3・4・114山下長和通橋梁整備事業
3・4・121長和農社通外2踏切除却事業
路線名: 一般道道 南黄金長和線
事業箇所: 伊達市館山下町63～長和町133
伊達市長和町371～長和町248
事業延長: 山下長和通1040m, 長和農社通840m
幅員: 山下長和通16.5m～20m(2車線)
長和農社通21m～27m(2車線)
総事業費: 約48億円
事業期間: H14～H17年度

○交通量調査結果

供用前 平成16年9月14日
供用後 平成18年9月21日
リンク2)
交通量 1,665台→2,045台
旅行速度39Km/h→47Km/h
リンク3)
交通量 823台→2,004台
旅行速度29Km/h→31Km/h

「整備効果」

○旅行速度の向上

国道37号 30Km/h→38Km/h

○交通量の分散

国道37号 15,733台⇒14,973台
山下長和通 1,665台⇒2,045台
823台⇒2,004台



事業後: H18. 3

○有珠山の噴火に伴う避難経路として期待されています。

2000年噴火において住民の避難時に、
唯一の避難道路である**国道37号の大渋滞**が問題となっていました。
当事業により住民が**速やかに避難**
できる避難経路として期待されています。



避難により渋滞する国道37号

事業前写真

平成13年7月撮影



山下長和通 平成13年10月撮影



長和農社通 平成13年10月撮影



事業後写真

平成18年9月撮影



平成18年3月撮影



平成18年3月撮影

